

現場で役立つ子どもの発達障害講座



この子との
関わり方
これで良いのかな…

発達障害に
ついて学んでいても
彼らの行動を
理解することが
難しい…

障害が
どういうものか
体験してみたい

**体験活動の場に
少し「気になる」子や、他の子と「ちがう」子いませんか？**

この講座では、「発達障害」（自閉スペクトラム症（ASD）、注意欠如・多動症（ADHD）、学習障害（LD）…これら発達障害の診断名を持つ子どもたち）についての基本を理解し、「障害」とは何かについて改めて考えます。また、当事者の気持ちや感覚を疑似体験することで、当事者が実際にどんな気持ちなのかの理解に繋がります。講師の体験や参加者同士の意見交換を重視し、子どもたちへの理解を深めていくことをねらいとしています。

発達障害の特性に沿った接し方とは

発達障害と聞くと心がモヤモヤするようなことはありませんか？
他のお子さんとは「ちがう」、「少し気になる」など発達障害のあるお子さんは一般的な野外プログラムは楽しめないのでしょうか。
どのようなプログラムなら楽しめるのか、どのような活動にリスクがあるのか、発達障害の特性に寄り添うことでどちらのお子さんも楽しめる指導法を学びます。



講座の特徴

✔ 障害とはなにか、どこからが障害なのか

発達障害、またそもそも「障害」とはどのようなものなのか、まずは具体的に知り、あらためて整理して考えることから始めます。障害の社会モデルについて紹介し、線引きの難しい発達障害に関する知識や理解を深めます。

✔ 疑似体験を通して知る

自閉スペクトラム症（ASD）、注意欠如・多動症（ADHD）、学習障害（LD）…頭では理解しているつもりでも、彼らと向き合っていると、時にはどう寄り添い、支援したら良いのか、迷ったり悩んだりすることはありませんか？
この講座では、実際に手を動かすなどの体験を通じて、彼らが見えている世界、感じている気持ちを、疑似体験していただきます。発達障害について“考えたり”、“想像したり”することからではなく、“体験し”、“共感する”ことは、目の前の子どもの理解への第一歩です。

✔ 体験から学び、分かち合う

講師が豊富な体験と、様々な発達障害との関連性について解説します。そして、当事者が普段どのようなことに困難を抱えているのか、どんなことがストレスで、つらいのか、について考えます。
子どもたちの心の中に寄り添えるよう、体験からの“気づき”を他の受講者と分かち合い、深めながら、日常へと持ち帰っていただくための時間をもちます。

✔ 子どもの発達特性を生かす学びの場として

ケアが必要な部分と他の子たちと変わらない部分があることを理解することで、子どもの気持ちを守りながら楽しい活動プログラムを提供することについて考えます。体験活動を通して子どもの発達に与える可能性も考えます。



カリキュラム

「障害」とは何かについてもう一度考えてみましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害の定義 ・どこからが「障害」か ・「障害」はいつ生まれるのか
代表的な発達障害について整理しましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・自閉スペクトラム症 ・注意欠如、多動症 ・学習障害
「障害」を疑似体験してみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・読みにくさ、書きにくさ、手先の感覚、声かけ 当事者の感覚や気持ちを疑似体験すると同時に、そのような状況でどのように声をかけサポートしたらよいかを考えます。
発達障害と向き合おう	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように向き合うかの心構え ・手助けのポイント ・パニックの対応 ・ニューロダイバーシティという視点 ・体験の意義とリスク



講座概要

■時間

10:00～17:00
(受付開始9:45～)

■定員

8名 (最少催行人数3名)
※先着順に受け付けております。
※ほとんどの方がお一人でのご参加です。
少人数で質問もしやすく、リラックスした雰囲気です。
学べます。

■受講費

11,550円(税込)

受講者の声

- 授業では習ったが、深く勉強できなかった領域を学ぶことができ、とても勉強になりました。(20代・保育士)
- 野外活動を行う際により子どもたちの個性を受け入れ見守っていきたくて思いました。(20代・NPO職員)
- 参加者同士の意見交換でいろいろな現場の具体的な話が聞けてよかったです。(30代・教員)
- 一方的に話を聞くだけでなく講座の中で自信が体験したことを双方向で知識を深めることができよかったです。(30代・研究所勤務)
- 座学・ビデオ・ロールプレイングもいろいろな角度から学べました。(40代・県立公園職員)
- 子どものストレスやパニックがおきてしまう理由と、その対処法がわかりました。(30代・保育士)

受講スタイル

■個人で受けるなら

弊社会場(横浜)での受講となります。
少人数制で丁寧に進めていきますので、
お一人でのお申込みでもご安心ください。
講座の日程はこちらから。



講座日程・お申込みページへ

■職場の仲間で受けるなら

講師派遣により、お好きな会場・人数・日程で受講できます。また、ご要望に応じて研修内容のアレンジも可能です。詳細やお見積もりなど、お気軽にお問い合わせください。



講師派遣の詳細ページへ

実績

東京都・千葉県 保育士等キャリアアップ研修、広島県 自然保育認証団体 保育士等安全研修、長崎県大村市 子ども安全管理士講座、東京都大田区 地域力推進課、八王子市私立幼稚園協会、千代田区 教育委員会事務局子ども部、埼玉県児童福祉研究会、蓮田市 保育士会、明星大学、関東短期大学、森のようちえん全国交流ネットワーク

講座概要・資格認定・研修モデル・講師派遣など、詳細はこちらまで・・・

体験活動リーダースアカデミー事務局
(運営：プラムネット株式会社 子ども安全共育事業部)

〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区沢渡 1-2 Jプロ高島台サウスビル4F
TEL: 045-312-6052 FAX: 045-312-6077 MAIL: eigyo@plumnet.jp
HP: <https://www.fieday.net>

HPIはこちらから！

